

けやき倶楽部 2022 年度事業計画

2022 年 5 月

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

新型コロナウイルスの影響により、本年 3 月まで、学習室の使用が禁止されていたため、種々の活動が相当程度制約されてきた。また、コロナの影響もあってか、会員数が近年になく減少した。

現在、けやき倶楽部にとって最大の問題点は会員の高齢化が進み、何らかの健康問題を抱える会員が多くなってきていることである。

そのためもあってか幹事やグループ代表などへの就任を断る会員が多くなり、会の運営に支障をきたし始めている。会員の皆様、たとえ高齢になっても、積極的に会の運営に関わっていただきたい。そのことこそ、いつまでも健康を保つ秘訣であろう。

今後のコロナの見通しについては定かではなく不透明な点が多いが、本年度の事業計画を以下の通り作成した。

1. 2022 年度 活動方針

- (1) 本年度も我々会員が新型コロナウイルスに感染しないことを最優先の方針として活動する。
- (2) そのため一部の事業計画や全体行事ができなくてもやむを得ないものとする。
- (3) 千葉大学と協力して生涯学習活動を推進し、学生等との交流を図りながら、その成果を地域に活かす。
- (4) 各学習グループ活動の支援・強化を図り、会員間の交流を深め地域社会に貢献する。
- (5) 千葉大学とけやき倶楽部の情報交換を密にして、けやき倶楽部の活動を活発にする。
- (6) 本年度は積極的に新規会員の加入を促進する。特に若い人と女性会員の加入を促進したい。

2. 2022 年度 事業計画

- (1) 千葉大学との連携・協力
 - ① 大学の授業に会員の体験・知見などを活用してもらう。
 - ② 大学主催の公開講座などへ積極的に参加する。
 - ③ SEEDS 基金への協力
 - ④ 千葉大学生の部活動に協力する。(落語研、合唱団、管弦楽団など)
- (2) 全体行事
 - ① 千葉大学主催の公開講座・シンポジウムなどの行事に協力する。
 - ② 幹事会主催の講演会及び実地見学会
 - ③ 各学習グループ主催の講演会の支援
 - ④ 各学習グループ主催の実地見学会の支援

(3) グループ活動

- ① 各学習グループへの会員の積極的な参加を奨励する。
- ② 新学習グループの立ち上げを奨励する。
- ③ 幹事会は各学習グループに対してその活動を積極的に支援する。
- ④ 千葉大学からの各学習グループへの講師派遣を支援する。
- ⑤ 各学習グループへの一律の補助金は取り止めるが、保険料、講師への謝礼等の補助は申請に基づき実施する。
- ⑥ 千葉大学外の施設を利用して、グループが活動する場合は利用料を補助する。

(4) 広報

- ① 千葉大学主催の公開講座等をメールやホームページで会員に紹介する。
- ② けやき倶楽部主催の行事や学習グループの例会等を大学に紹介し、学生等との交流を図る。
- ③ 会員の参画する外部行事についても、幹事会の承認の下で全会員に紹介する。
- ④ 「けやき倶楽部のご案内」を適宜更新し、関係先への配布に努める。

(5) I T

- ① 時代に沿った会の運営を可能にするハードウェアやソフトウェアの整備に努める。
- ② セキュリティ情報を適宜発信し、会員のトラブル防止を支援する。
- ③ 学習室を利用したのハイブリッド例会の環境整備と支援を行う。

3. 2022 年度事業

(1) 組織

- ① 年次総会
年 1 回実施する。
- ② 幹事会
定例幹事会 毎月 1 回（原則として第 1 火曜日に行う）
臨時幹事会 必要に応じて随時行う。
- ③ 幹事会業務は下記の 6 チームに編成して遂行する。
企画・会員管理・会計・総務・広報・I T

(2) 連絡会

- ① 大学との意見交換会 少なくとも年 1 回
- ② 幹事・代表世話人との意見協議会 少なくとも年 1 回
- ③ パソコン担当者連絡会 年 1 回

以上